

藤樹記念館通信

人物藤樹と藤樹心学を広めた門人

近江聖人中江藤樹記念館長 横井 正

中江藤樹の門人は百人余いたが、岡山藩・大洲藩や近江国の藩士が多数を占めていました。それでは、どのようにして藤樹心学が全国に広まったのでしょうか。それに寄与したのは熊沢蕃山と淵岡山です。

蕃山は、藤樹の門人として約八ヶ月間教えを受け、藤樹心学の心髓を体認しました。その後、備前岡山藩で池田光政に仕え、大胆な藩政改革を行いました。後に陽明学者として名を馳せ、師中江藤樹とその教えが広く知られるようになりました。



熊沢蕃山

一方、岡山は、四年間藤樹の教えを受けました。藤樹の没後、大溝藩を介して、藤樹書院の解散命令が言い渡されました。岡山は、藤樹の葬儀を終えると、京都で藤樹の学問を講じました。そして一六七四年には西陣に祠堂を建て、学館を創設し、藤樹心学の普及に努めました。数百

人の岡山の門人は京都・会津・大阪・美作・伊勢・江戸・熊本などで藤樹学派をつくり、藤樹学は全国に広がりました。



淵岡山

現在、藤樹記念館では、上述の藤樹学の広がりを見せ資料により科学的に検証していただきたいと思いい、小企画展「双璧熊沢蕃山・淵岡山」を開催中です。

(九月三十日まで)

賛助会員一覧

平成二十六年八月現在で、本会の賛助会員としてご加入いただいております法人は次の通りです。

- ウエストレイクホテル可以登楼
- 株式会社 大山建設
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 白浜荘
- 社会福祉法人 新旭みのり会
- 株式会社 TADコーポレーション
- 鉄屋商事 株式会社
- とも栄藤樹街道本店
- 中村印刷 株式会社
- ニッケイ工業 株式会社
- 有限会社 馬場塗装
- 有限会社 綿庄食品店 (五十音順)

お知らせとお願い

★高島藤樹会のホームページを一度ご覧ください

本ホームページは、広報担当理事の深川澄雄さんによって作成され、更新していただいています。「NPO 法人高島藤樹会」で検索していくと、トップページが開きます。インフォメーションや新着情報が載せられています。続いているページは「中江藤樹」で、藤樹先生の経歴や略年表が記されています。以下、「藤樹書院」「活動内容」「良知館」のページで構成されています。

★寄稿や会報についてのご意見を
お寄せください

当会報の発行は、五月、九月、一月の年三回を予定しています。少しでも読みやすく、親しみのもてる内容で、しかもグレードの高い会報にするために、ご意見をお寄せください。

また、『会員のひろば』コーナーでは、「心温まるお話」や「私の藤樹先生との出会い」といったテーマで寄稿をお待ちしています。

三田村治夫 (広報担当) 宛
TEL・FAX 0740-25-2246
e-mail: mitamura.haruo@ruby.plala.or.jp

あとがき

わが子を守る キジに学ぶ!

今年の夏はこれまでになく雨が多く、蒸し暑い日が続きました。畑の草も競争するように伸びていきます。七月のはじめ頃だったでしょうか。草刈り機を使っていると、隅の草の中に二個の卵が並んだ巣を見つけてみましたが、なぜか親鳥はいませんでした。

五年ほど前にもこの同じところに巣がありました。その時は、機械で草を刈っているといきなり激しく雌キジが飛びかかってきて、驚いて後ずさりしてもキジは引き下がろうとしません。たじたじで一〇mほどの草むらに近づくと、そのキジが巢に座り込んでこちらをにらみつけていました。そう言えば、先ほど三〇四m東側で大きな蛇が頭を潰されて死んでいた訳も、私にあれば激しく立ち向かってきた訳も分かりました。巣には、可愛い雛がいたのでしよう。

一方人間社会では、昨年、児童虐待の件数は七万三、七六五件(前年比一〇・六%増)で過去最悪、面前DV(子どもの面前でのDV)被害児童は八、〇五九人で、これも過去最悪とのこと……。(H・M)